

~ Serendipity ~ vol.1

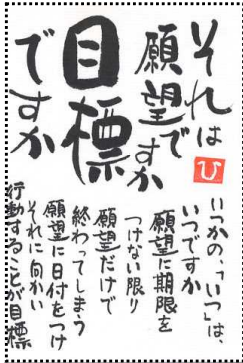
2017(平成29)年5月11日(木)

鎌田中学校 生徒指導“通心” 大西 恵

【新学年になって】

新しい学年となって、1ヶ月が過ぎました。生徒の皆さん、生活リズムは落ち着いてきましたか？先生もようやく、新しい仕事のリズムがつかめてきたので、生徒指導“通心”を書くことにしました。

皆さん同士の、また皆さんと先生方の心が通い合う学校にしたいという願いを込めて、“通信”ではなく、“通心”としました。



さて、皆さんには今ぜひしてもらいたいことがあります。それは、これまでの1ヶ月の“振り返り”です。4月当初に今年度の新たな目標を立てたと思いますが、現在その目標を意識して生活していますか？目標に向けて順調に歩んでいるのなら、その歩みをさらに充実するにはどうすべきかを考えましょう。もし思うように歩みが進んでいないなら、何をどう修正すべきなのかを周りの友達や先生方、保護者の方に質問してみてください。上手いかわからないときは、人に助けを求めるのは有効な手段の一つです。

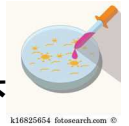
【タイトルについて】

“serendipity (セレンディピティ)”とは、『素敵な偶然に出会ったり、予想外のものを発見すること』、『何かを探しているときに、探しているものとは別の価値があるものを偶然見つけること』、『失敗してもそこから見落としせず学び取ることができれば、成功に結びつくこと』などの意味があります。

科学の世界での大発見や大発明は、セレンディピティが多いものです。その例を少し紹介します。

その壱：抗生物質ペニシリンの発見 → ノーベル生理学・医学賞

生物学者フレミングが休暇から研究室へ帰ってくると、片付け忘れて培養中のブドウ球菌がアオカビによって生育が阻止されていた。この事から細菌による病気の治療方法が確立され、医学が大きく進歩し、20世紀最大の発見の一つと呼ばれるようになった。



その弐：コカ・コーラの誕生



薬剤師のペンバートンは、お酒の代わりになる代用飲料、そしてモルヒネやアヘン中毒の治療にも使える「薬」を開発しようとして、コカの葉(コカインを含む)とコーラの実を使っていた。助手がこ2つを誤って炭酸水に入れてしまった事からコカ・コーラが誕生した。

その参：電子レンジの誕生

軍事レーダーの平和利用を研究中、スペンサーがマイクロ波を発生させる機械に近づいたところ、ポケットの中のチョコバーが溶けてしまった。このことからマイクロ波で食べ物を加熱できる事に気づき、電子レンジを開発した。



このように、一見すると失敗と思われることから、新たな発見・目標につながることは、皆さんの生活にもきっとあると思います。皆さんの頑張りが、これからの素敵な出会いになり、一人一人の成長・成功に結びつくことを信じています。

～今日の言葉～ 【積水成淵(せきすいせいえん)】

意味:小さなものでも積み重なれば大きな力になること。また、努力を重ねていけば物事が成就するということ。

If you do your best, things will be fulfilled.